

第7回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和5年11月2日（木）19時-20時30分 姫路市医師会館



リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）の内容をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、**《ケアマネ》生活機能（活動・参加）の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか**
《リハ職》どんな情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第7回は、ケアマネジャー20名、リハ職23名、他専門職1名が参加されました。

今回は、言語聴覚士会より事例提供（リハビリテーション計画書をご作成）をいただきました。9つのグループに分かれて話し合いを行いました。日常の業務では聞きにくかったちょっとした疑問や、率直な意見交換などを行い、和やかな雰囲気の中、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ～グループ発表のご意見より～

- ・《ケアマネ》記載内容について難しい部分がある場合、計画書(紙)だけでなく直接の情報共有が重要。
→《リハ職》記載内容についての確認や、すり合わせ等が必要
- ・《リハ職》ケアマネが利用者の状態をより正確にイメージすることができるよう、わかりやすい言葉で具体的に表現する。
→《ケアマネ》リハ計画書に記載されている見通しや目標を共有したうえで、ケアプランに反映させることが大切。

《参加者アンケート 回答（一部抜粋）》

- ・デイケア中の取組みから、具体的な生活の中での取組みに転換し考えられるように、多職種との擦り合わせの機会をもつ必要性を感じた。リハ会議や担当者会議の機会を大切にしていきたい。（ケアマネ）
- ・活動を阻害している因子が何によるものかリハ計画書の読み取りから明確にすることで、将来像を予測し、本人の強みを活かしながら本人の目指す本人像に近づけるように考えていくことが大切だと感じた。（ケアマネ）
- ・疑問に思うことに対して、リハ職に質問（確認）する勇気を持つことが大切だと感じた。（ケアマネ）
- ・点数評価などでは、ケアマネは対象を想像し辛いというのを聞き、文章や会話の中でどれだけ噛み砕いて説明できるかが大切だと感じた。（リハ職）
- ・今後は、直接お話ししながら書面の内容をすり合わせる工程を入れようと思います。（リハ職）
- ・ケアマネがリハ計画書のどこを見ているのか分かった。具体的な目標の記載が大切だと思った。（リハ職）

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催を予定しております【日時未定】
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます